



自慢の手作り凧を保護者らと一緒に揚げる川並小児童 = 揖斐川河川敷（大垣市馬の瀬町）

『凧揚げて、ふれあい交わす 河川敷』

かわなみ

川並小伝統・ふるさと凧揚げ大会

うまのせちょう

- 『凧揚げて ふれあい交わす 河川敷』と、川並ふる里かるたに歌われている川並小学校（大垣市馬の瀬町）
伝統の「ふるさと凧揚げ大会」が1月16日（金）、揖斐川河川敷で開かれた。

全校児童約150名と保護者約100名が参加し、冬休みの課題として作った凧を親子で楽しんだ。平日にも関わらず、若いお父さん「イクメン」たちの参加が多かったことも印象的であった。

当日は晴天に恵まれたが風が強く、児童たちは干支の羊や2015の文字、自分の好きなアニメキャラクターなどを描いた独自のカラフルな凧を揚げようと悪戦苦闘する姿が見られたが、市凧愛好会の指導を受けながら、うまく操り風に乗った凧は、大空へぐんぐんと舞い上がっていった。

凧揚げに参加した児童の一人は、「凧揚げは難しかったけど、凧が高く揚がった時はとても嬉しかった」と満足そうだった。

